

事業の実施概要（1）円卓会議

車いすスポーツ競技における各分野の専門家をメンバーとして、円卓会議を開催し、現状の課題を集約・整理し、洗い出しを行った。以下の3つのグループに分けた。

・A班(テーマ:「車いす」についての課題)

車いすの構造と機能、競技を実施する際の課題、社会環境との関わり等を検討した。

・B班(テーマ:「車いすスポーツ」についての競技種目別の課題・共通した課題)

車いすスポーツに共通する課題、それぞれの競技に固有の課題を洗い出した。

・C班(テーマ:「車いすアスリート」の健康管理、外傷・障害・事故への対応)

車いすアスリートとスポーツドクターやトレーナー、障害者スポーツ団体が連携した健康管理体制、障害やケガの情報などの情報共有などの体制づくりの好事例を共有した。

	日時	開催場所
第1回円卓会議	2021年11月30日(火)13:00～16:45	日比谷図書文化館セミナールームB
第2回円卓会議	2022年1月22日(土)13:00～15:30	オンライン開催

事業の実施概要（2） 事業成果報告会

「車いすスポーツの普及・振興と共生社会を展望して」というテーマで、事業成果報告会を開催した。

開催の目的は、「円卓会議」で得られた成果を広く関係者に報告し、障害者スポーツ団体の連携とその体制を整備することである。

2022年2月22日（火）オンライン開催

申込者：79名
参加者：63名

第1部
<p>報告Ⅰ「車いすスポーツの現状と課題」 中森 邦男 (当機構 理事/公益財団法人日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会 参事)</p>
<p>報告Ⅱ「車いすの構造と機能、その歴史と将来」 山口 高司 (株式会社オーエックスエンジニアリング 代表取締役副社長)</p>
<p>報告Ⅲ「車いすスポーツの現場から」 (各15分) 1. 土田 和歌子 (夏季・冬季パラリンピック日本代表車いすアスリート) 2. 永岡 真理 (当機構 理事/電動車椅子サッカー日本代表選手)</p>
第2部
<p>報告Ⅳ「車いすとスポーツ施設の現状と課題」 水原 由明 (公益財団法人日本スポーツ施設協会 常務理事兼事務局長)</p>
<p>報告Ⅴ「車いすスポーツの医事管理」 田島 文博 (和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学講座教授)</p>
<p>報告Ⅵ「車いすは共生社会のシンボル」 増島 みどり (当機構 業務執行理事/スポーツ・ライター/株式会社The Stadium 取締役) 竹村 瑞穂 (当機構 理事/日本福祉大学 スポーツ科学部准教授) 倉田 秀道 (あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 経営企画部次長兼スポーツチーム統括)</p>
第3部
<p>総合質疑・自由討論</p>

事業の実施概要（3）啓発冊子、資料集

障害者スポーツ団体へ車いすスポーツに関する情報を提供するため、啓発冊子（B5版、全頁カラー、62頁）を作成した。

【車いすとは】	5項目	} 合計 23項目
【車いすスポーツとは】	8項目	
【車いすアスリート】	10項目	

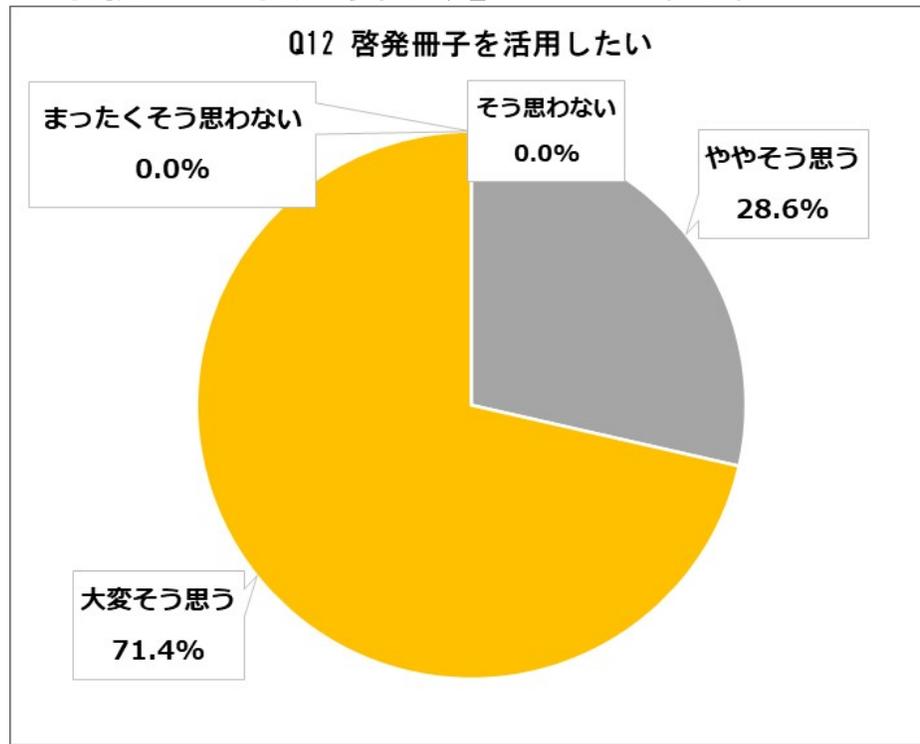
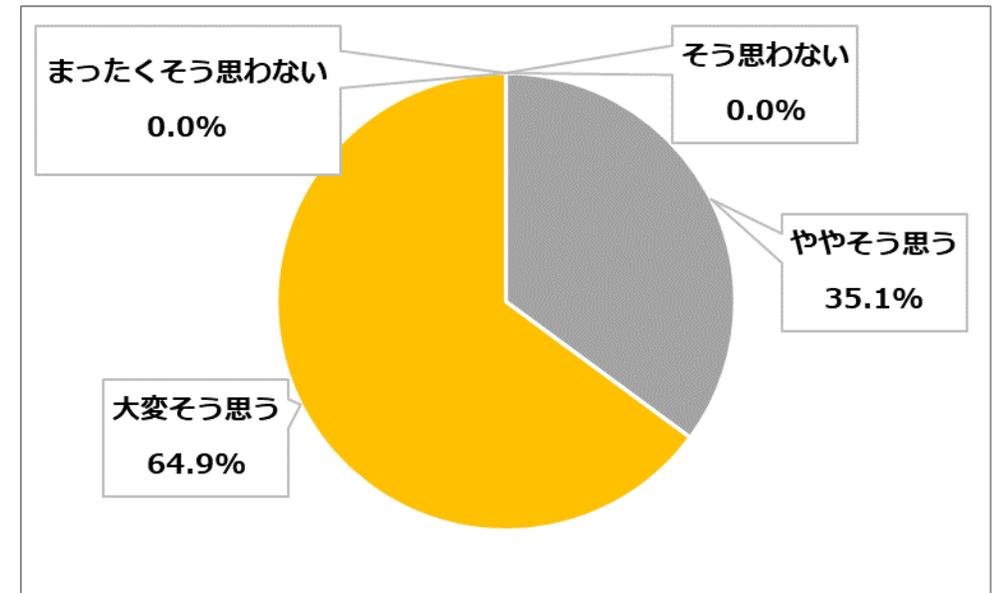
また、障害者スポーツ団体へ車いすスポーツに関する情報（スポーツ用車いすについて、障害者スポーツ団体のコンプライアンス・ガバナンスについて等、11項目）を提供するため、資料集を作成した。



事業の実施概要（4）効果検証

Q5 車いすスポーツの課題について理解できましたか？
「ややそう思う」「大変そう思う」を合わせると、100%である。

- ・資料集に対する満足度は、85.7%である。
- ・内容についての理解度は、85.7%である。
- ・業務への活用度は、85.8%である。



Q1 啓発冊子を活用したい。
「ややそう思う」「大変そう思う」を合わせると、100%である。

- ・啓発冊子に対する満足度は、100%である。
- ・内容についての理解度は、100%である。
- ・業務への活用度は、100%である。